

自由に使えるお金が増えても、自由に使えない！？
出費のほとんどは食費や交際費に使っている！

中高大学生のお金の使い方に関するアンケート調査

□ トピック

- ・ 10代の約半数は、1ヶ月に使えるお金は1万円未満
- ・ 1日300円程度で生活をしている
- ・ 出費の割合が多いのは「飲み物・おやつ」「本・音楽」「食事・弁当」
- ・ 大学生になると「食事・弁当」「部活・サークル」「飲み会」の費用も増える
- ・ 自由に使えるお金が増えても、実際には食費や交際費に使われている

<アンケート概要>

対象：日能研卒業生の中学1年生～大学4年生

調査方法：インターネット

回答者属性：

| 学年 | 回答数 | | | | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | |
| 中学生 | 133 | 105 | 80 | - | 318 |
| 高校生 | 70 | 83 | 82 | - | 235 |
| 大学生 | 67 | 52 | 60 | 52 | 231 |
| 総計 | | | | | 784 |

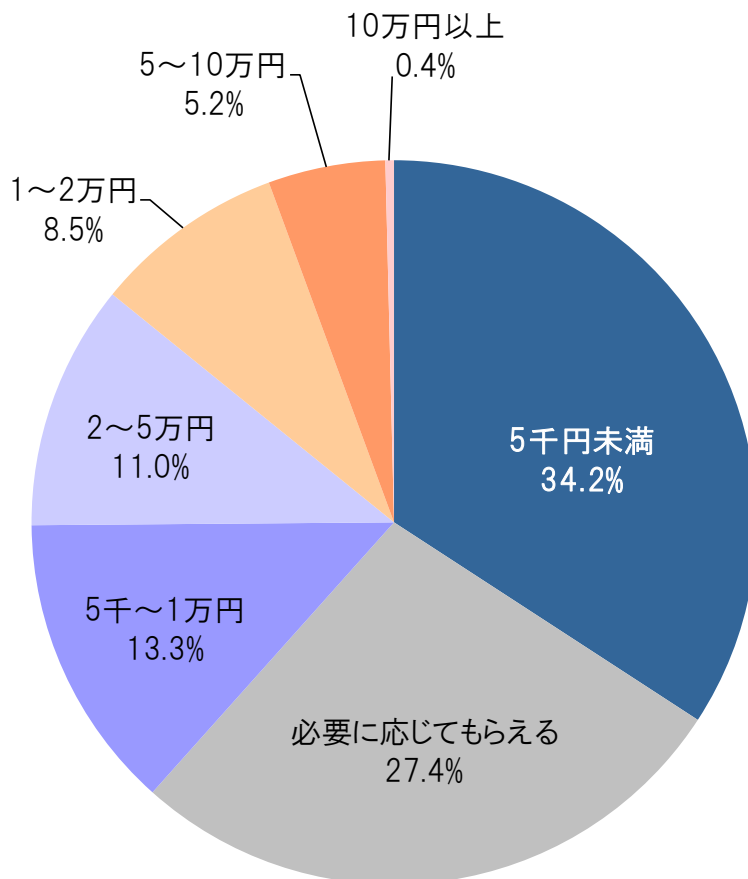
■ 10代の約半数は、1ヶ月に使えるお金は1万円未満

今回の調査は、中高大学生のお金の事情について。まずは自分で自由に使えるお金がどのくらいあるか、1ヶ月平均の金額を聞いた。

一番多かったのが「5千円未満」で34.2%、次いで「必要に応じてもらえる」が27.4%、「5千～1万円」が13.3%となった（図表1）。「必要に応じてもらえる」では、購入品は一旦両親のフィルターにかかるため、その自由度は狭い。つまり1日約300円以内で過ごすことが求められる「5千円未満」と「5千～1万円」を加えた10代の約75%において、自分で自由に使えるお金の範囲は広くないようだった。だが一方では少数派だが、「5～10万円（5.2%）」や、「10万円以上（0.4%）」と回答した学生もいた。

男女別に見ても大きな傾向は変わらなかった。

<図表1：自分で自由に使える、1ヶ月平均の金額（n=784）>

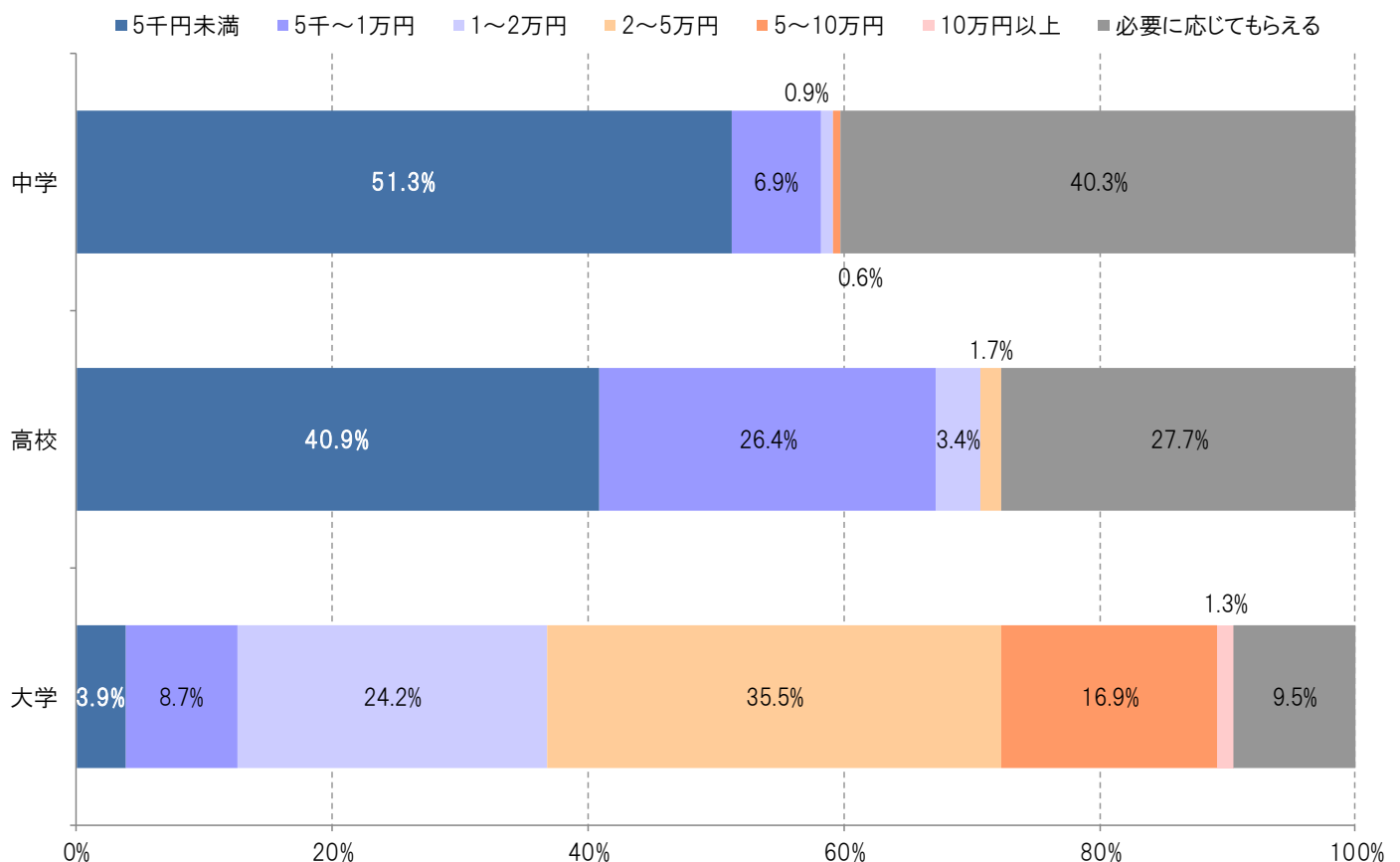


次に図表 1 を、中学・高校・大学の 3 区分で分けて集計した（図表 2）。この区分で見るとそれぞれに大きな違いが見られた。

中学においては、「5 千円未満」が 51.3%と約半数、次いで「必要に応じてもらえる」が 40.3%と、この 2 つで 90%以上を占めている。高校になると、「5 千円未満」「必要に応じてもらえる」は中学と比べ減少し、その代わりに「5 千～1 万円」の割合が増加した（中学 6.9%→高校 26.4%）。さらに大学生になると、高校と比べて「5 千円未満」「必要に応じてもらえる」はもちろん、「5 千～1 万円」の割合までも減少し、「1～2 万円（24.2%）」「2～5 万円（35.5%）」「5～10 万円（16.9%）」がそれぞれ大きく増加した。

当然だが年齢が上がるごとに自由に使えるお金の範囲は広がる。特に高校生から大学生への変化では、アルバイトができる（もしくはアルバイトをできる時間が長くなる）こともあり、お金の自由度は上昇している。

<図表 2：自分で自由に使える、1 ヶ月平均の金額（n=784）>

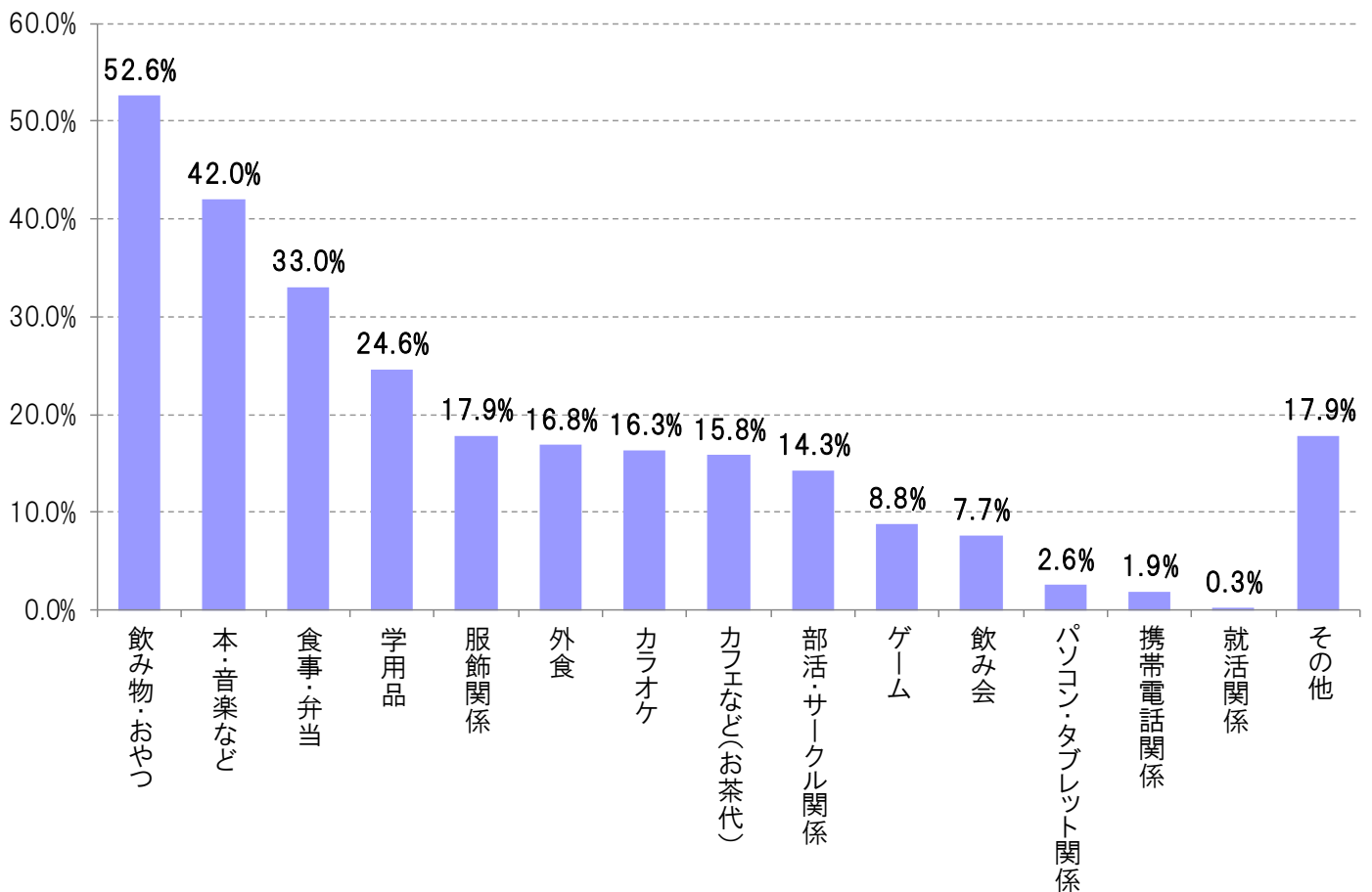


■ 出費の割合が多いのは「飲み物・おやつ」「本・音楽」「食事・弁当」

それでは、いまの10代は一体何にお金を使っているのだろうか。出費が多い項目を3つ選んでもらった（図表3）。

全体では「飲み物・おやつ」が52.6%と過半数を超え、次いで「本・音楽など（42.0%）」「食事・弁当（33.0%）」となった。上位3項目のうち、2項目は飲食に関する項目になり、10代の多くは食事や間食にお金を使用しているようだ。一方で「携帯電話（19.0%）」「パソコン・タブレット（2.6%）」については割合が低く、自己負担している層は少ないのかもしれない。

＜図表3：主に何にお金を使いますか？出費の金額が多い上位3項目（n=784）＞

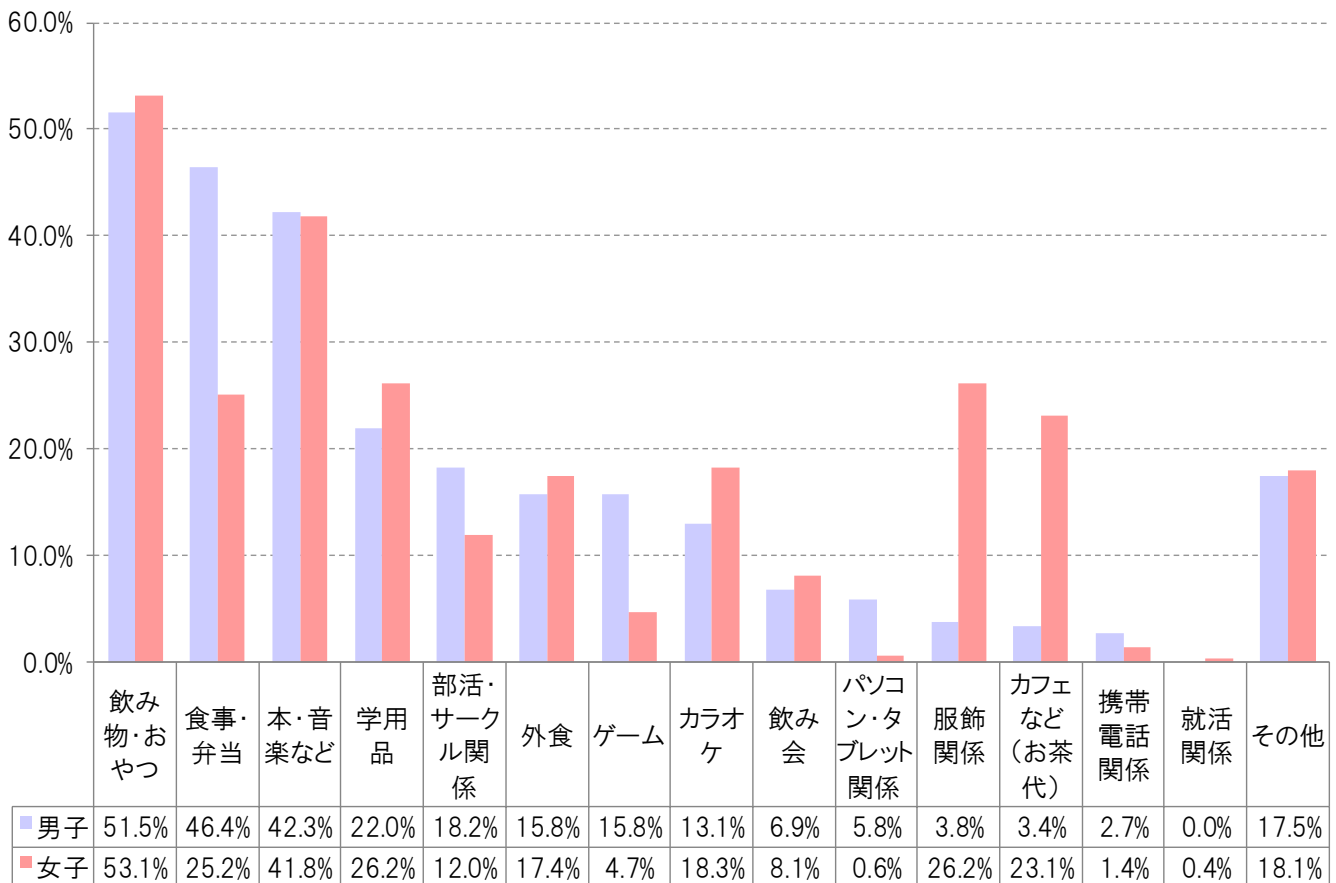


続いて図表 3 を、男女別で集計した (図表 4)。

男子の上位は「飲み物・おやつ (51.5%)」「食事・弁当 (46.4%)」「本・音楽 (42.3%)」となった。また女子の上位では「飲み物・おやつ (53.1%)」「本・音楽 (41.8%)」は男子と同じだったが、3 番目に「服飾関係 (26.2%)」「学用品 (26.2%)」があがった。

男女で大きな差が見られたのは、「食事・弁当」「ゲーム」「パソコン・タブレット」「服飾関係」「カフェ」の 5 項目。「食事・弁当」「ゲーム」「パソコン・タブレット」に関しては、男子の方が女子より割合が多かった。一方「服飾関係」「カフェ」に関しては、女子の方が男子より圧倒的に割合が高く、9 倍近い差がついた。

<図表 4：主に何にお金を使いますか？出費の金額が多い上位 3 項目 (男女別 n=784) >



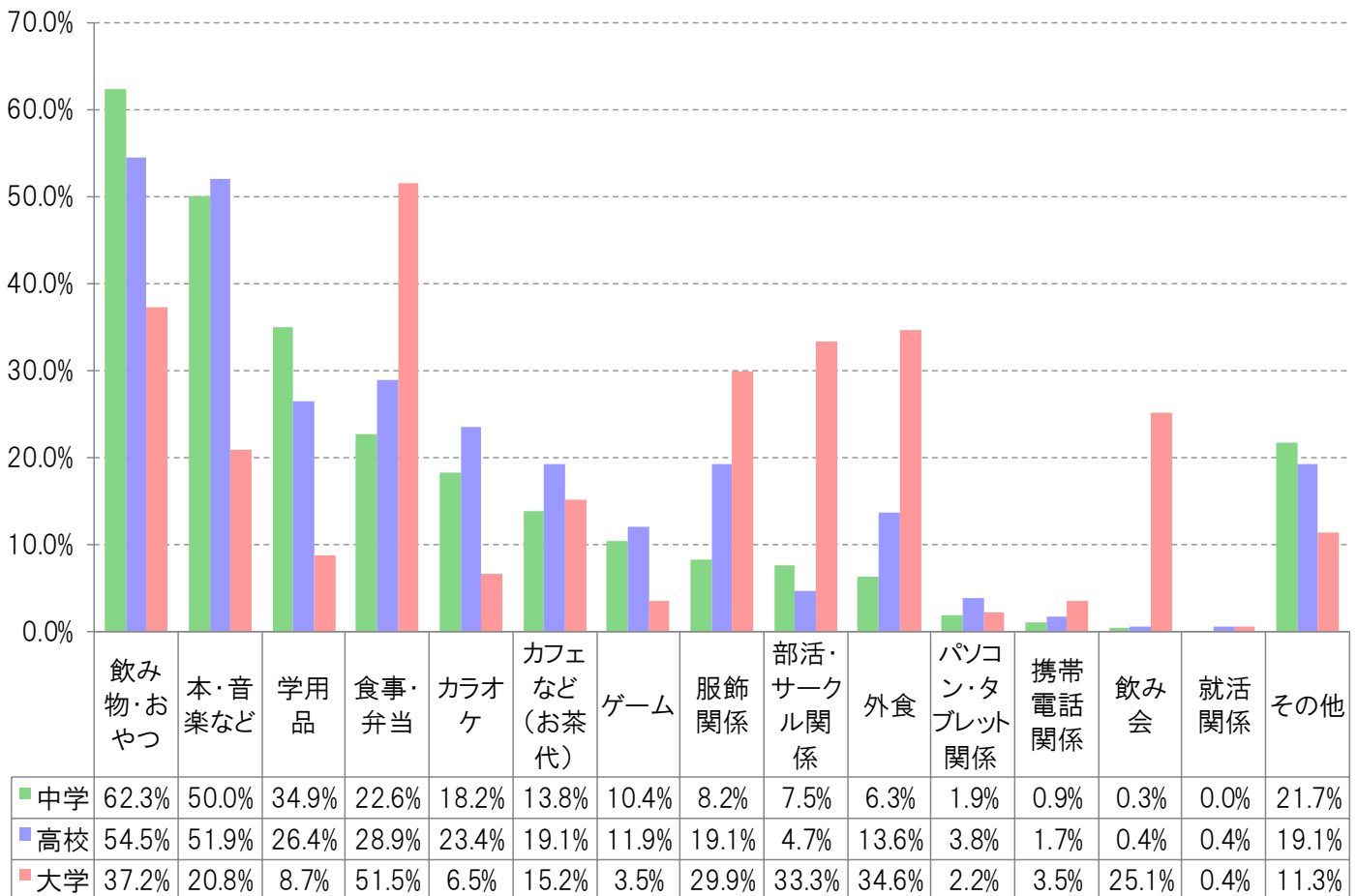
また同様に、中学・高校・大学での区分で集計した（図表 5）。

中学の上位は「飲み物・おやつ（62.3%）」「本・音楽（50.0%）」「学用品（34.9%）」、
高校の上位は「飲み物・おやつ（54.5%）」「本・音楽（51.9%）」「食事・弁当（28.9%）」、
大学の上位は「食事・弁当（51.5%）」「飲み物・おやつ（37.2%）」「外食（34.6%）」、とな
った。

大学生になると「部活・サークル」や「飲み会」、「服飾関係」などの割合が増えている。特
に「服飾関係」については中高大と進むごとに割合が増える。「食事・弁当」「外食」につい
ても中高大と増加している。一方で、「飲み物・おやつ」「学用品」については、大学生にな
るにつれてその割合は減少する。

中学生と高校生では出費の構成比はそれほどかわらないが、大学生になると大きく変わる。
まず一つは「食事・弁当」「外食」の食費。昼食だけではなく、場合によっては夕食につい
ても自己負担することが増えるためか割合が増加する。もう一つは「部活・サークル」「飲
み会」などの交際費が増加している。

<図表 5：主に何にお金を使いますか？出費の金額が多い上位 3 項目（中高大別 n=784）>



最後に、自由に使える金額で区分し、区分ごとに出費の多い項目の結果をまとめた(図表 6)。

「～1万円」の層では、間食や娯楽のための出費の割合が多いが、「1～5万」「5万以上」の層になると、間食や娯楽の割合は減少し、食事代の割合が多くなる。また交際費についても使える金額が多くなるとその割合が多くなる。

つまり、自分で自由に使えるお金が増えたとしても、食べ物・飲み物の食費や交際費など基本的な費用に使われているため、純粋に自由に使える金額が増えたとは言えないのかもしれない。社会のグローバル化が進み、ICTなどのテクノロジーが進歩した現代においても、学生には自由なお金が少ないという事実は変わっていないようだ。

<図表 6：自由に使える金額ごとの、出費の多い項目 (n=784) >

| 区分 | アンケート項目 | ～1万円 (372名) | 1～5万 (153名) | 5万以上 (43名) | 必要に応じてもらえる (215名) |
|-------|-------------------------|----------------|----------------|---------------|----------------------|
| 間食費 | ・カフェなど(お茶代) ・飲み物・おやつ | 78.8% | 52.3% | 40.9% | 67.4% |
| 娯楽費 | ・カラオケ ・本、音楽など | 73.7% | 26.8% | 27.3% | 60.5% |
| 食事代 | ・外食 ・食事、弁当 | 33.1% | 89.5% | 81.8% | 44.2% |
| 学用品費 | ・学用品 | 28.8% | 5.9% | 6.8% | 34.4% |
| 電化製品費 | ・ゲーム ・パソコン、タブレット関係 | 12.6% | 9.2% | 4.5% | 12.1% |
| 衣服費 | ・服飾関係 | 11.8% | 32.7% | 43.2% | 12.6% |
| 交際費 | ・飲み会 ・部活、サークル関係 | 8.6% | 56.2% | 59.1% | 13.0% |
| 通信費 | ・携帯電話関係 | 1.6% | 2.0% | 9.1% | 0.9% |
| その他 | ・就活関係 ・その他 | 19.6% | 17.0% | 9.1% | 18.1% |

調査結果に関するお問い合わせ

株式会社コアネット

TEENS RESEARCH 担当：奥田

TEL：045-914-3005 MAIL：info@core-net.net

URL：http://www.core-net.net/